

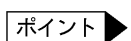
算数 学習相談		学研教育情報資料センター 小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 分母がちがう分数のたし算 / 理解シート
------------	---	--

真分数どうしのたし算で答えが真分数の計算方法を教えて

(真分数+真分数=真分数)



☐ 大切! 分母がちがう分数のたし算は通分してから、計算するんだよ。 $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{3}$ を^{つうぶん}通分してからたし算をすればいいんだ。



ポイント▶ 分母が同じときには、分母はそのままで分子だけをたしたね。分母がちがっていても、通分して分母を同じにすればたし算ができます。



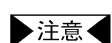
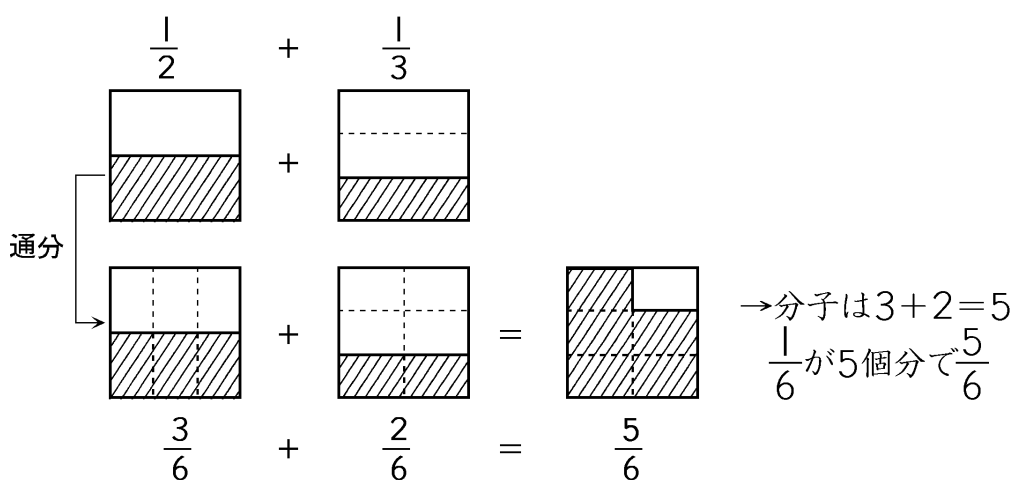
$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ のたし算をしましょう。

① $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$

- ・通分する。共通な分母は、2と3の^{さいしょうこうばい}最小公倍数の6。 $(\frac{1}{2} = \frac{1 \times 3}{2 \times 3} = \frac{3}{6}, \frac{1}{3} = \frac{1 \times 2}{3 \times 2} = \frac{2}{6})$

・分母はそのままで、分子だけたす。

② 上の分数のたし算を図でみてみます。



注意 ◀ $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{2}{5}$ としてはいけません。

分母が同じたし算は、4年生で学習したね。

